

大清水中だより

教育理念 自由と責任

教育目標 よりよく生きる力を育成する

2025年(令和7年)7月2日発行 7月号

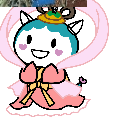
藤沢市立大清水中学校 〒251-0002 藤沢市大鋸 1400 TEL 0466-50-8353 校長 山下 尚子

学校ホームページ <http://www1.fujisawa-kng.ed.jp/johsh/>



朝顔 5組作品

7月に入り、梅雨といっても雨より酷暑に耐える毎日です。そんななか、学校では工夫しながら教育活動を進めています。生徒昇降口には七夕の笹が飾られ(笹は地域の方からいただきました。ありがとうございます!)、生徒会本部が用意してくれた色とりどりの短冊には、生徒と職員の願い事がかけられています。…皆さんの願い事が叶いますように。



先月、雨の中、苔だらけになったプールを男女バスケ部とサッカー部が練習時間を削って掃除をしてくれました。そのおかげで、緑だったプールもすっかり透明になり、プール学習が始まりました。楽しそうな声と共に、上手に鳴けるようになったウグイスの声が聞こえてきます。

この1ヶ月の中で、生徒が全校生徒の前で自分の考えを表す場面がいくつかありました。集会での体育祭の振り返り、先生方への本のインタビュー、壮行会での発表…どれも生徒自身がよく考え、心に残る発表となりました。壮行会と体育祭の振り返りは原稿をHPにも掲載しましたので、時間のあるときにご覧ください。図書委員会のインタビューでは、生徒自身が「読んでみたいな」と思う機会になったことと思います。これからさらにさまざまな生徒主体の活動が進み、自立した活動ができるようになることを願っています。

6月、より良く生きる力をつけるためのたくさんの催しがありました。いくつかご紹介します。

【5組 田植え(6月6日 明治小近く田んぼにて)】 【全学年 芋植え、草取り(6月随時)】



田をならして一本ずつ丁寧に苗を植えました。



各学年で日にちを決めて順番に苗周りの雑草を取っています。

今年はたくさん収穫できますように!!

【三校交流(6月17日 藤沢清流高、大清水小、本校1年生でクリーン活動)】



三校交流クリーン活動では、高校生、中学生、小学生で班を組んで、側溝を中心としたクリーン活動を行いました。側溝にあった泥や枯れ葉は取り除かれ、かなりきれいになりました。側溝にゴミがたまっていると排水が進まず、本校のような元沼地では、グラウンドに水が溜まってしまいます。防災面でも側溝の清掃は大切です。高校生のリーダーシップ、中学生の働き、小学生の素直さ…異年齢交流で良い関係をつくりながら、各校の環境整備をしてくれました。



【壮行会 6月18日・市総合体育大会6月21日～】



今年は、熱中症予防のために例年より1週早く6月21日から市総合体育大会が始まりました。6月18日には大会に参加する各部活動からの意気込みを全校生徒で聞き、応援をする壮行会を持ちました。大会に参加しない部からの応援や、各部代表の宣誓があり、これまで積み重ねてきた練習を仲間と共に形にしていくなぎを参加者全員で感じられる会となりました。

(HP もご覧ください) 白熱中の市総合体育大会については、次回の学校だよりでお知らせします。

【2年 車椅子バスケットボール(6月19日)】

車椅子バスケットでは、車椅子でバスケットボールをして垣根のないスポーツを楽しむだけでなく、講師の方から「人生には思いもよらぬことがある。…苦しみ、悩む。でも、そこで人生は終わらない。」「どんなことが起こっても、前向きに生きる姿勢」を子どもたちへ伝えていただき、しっかり学んでいました。

(裏面に生徒の感想(一部抜粋)あり)



【1年 防災学習(6月19日)】

防災ではNPO(かながわ311ネットワーク)に来ていただき、1年生各クラスで防災ゲームをしました。

「日本はとても美しい国。けれど、自然災害の多い国でもある。だからといっておやみに怖がるのではなく、しっかり学んで備えていくことで、自分たちの命を守ることができる。」クロスロード(ジレンマ学習ゲーム)では「正しい、正しくないではなく、多数意見、少数意見を上手に取り入れていくことが共生社会である」ということも講師から学んでいました。

学ぶ姿勢がとても真摯でした。(裏に感想(一部抜粋)あり)ぜひ、ご家庭でも防災について話す機会にしてください。



【2年 CASプログラム(キャリア教育)(6月24日～)】

キャリア教育の一環として、2年生は現在CAS(キャリア アクシス サポート)プログラムで講師を招いています。「自分のことを知る」ことから始まり、「働く自分を考える」時間となっています。講師の方が

「『言霊』…言葉には魂があり、力がある。

『吐く』…口から+と-が出る。

言葉には力があって、言葉を発するときマイナスを消すと → 『叶』(かなう)

言葉には力があって、プラスのことを出していると、自分の思う方向に叶うんだよ!」と熱く語ってくれたことが印象的でした。他にもたくさん学んでいます。このCASプログラムは2年生の保護者の皆様にも公開しています。次回もありますのでご参観ください。

【アジサイまつり@藤沢清流高校】

三者連携ふじさわ大清水心のかげはし会が中心となり、大清水地域を盛り上げるお祭りが6月15日(日)、藤沢清流高校で開催されました。本校からは吹奏楽部の発表、本校有志ボランティアが大変活躍しました。また、水害対策のための「水のうづくり」についての紙芝居パフォーマンスと吹奏楽部の演奏は、小さな子どもからご高齢の方まで大変好評でした。小鳥の風船(クラフトづくり)には事前に美術部、昼休みピアノチーム、ボランティアの皆さんにも協力いただきました。ありがとう!!



生徒の感想(抜粋)

◆車椅子バスケットボール◆

- ・体が不自由になってしまったら「何もできない」と僕なら思ってしまうかもしれないけどそこからできることを探すのが大切なんだと思った。
- ・助けることが人のためになる、っていうのが私にとってうれしいことだと思った。
- ・私は足が遅いから、上半身だけを使う車椅子バスケットボールがとても楽しかった。足が一生涯使えないといわれても、暗く下を向くのではなく、上を見て自身で光をつかんだのが本当にすごいと感じた。
- ・学ぶ前は車椅子の人って大変だなーと思っていたけど、車椅子だから、車椅子じゃないから、とか関係なく皆自分に合ったやり方で楽しく人生を送っている(ことが大事)と思った。
- ・元々障害を持っている、事故や何かで障害が残ってしまっている、今は何か障害があってもできることが増えているのでそこまで大きく絶望しなくて良い、と感じました。
- ・足が使えない分、上半身の繊細な動きや腕の力が大切と感じました。実際に車椅子に乗ってみて、方向転換など、日常生活でも大変なことが多いと思った。こうした体験をしてみて大きな壁にぶつかっても、それを乗り越えてあきらめない気持ちの大切さや何気ない日常がどれだけ幸せかわかりました。

◆防災学習◆

- ・Yes / No クイズで「ジレンマ」を感じられました。災害時はきっとそういう「答えのないこと」だらけだろうけど、自分で考えて答えを出せるようにするためにも、日々の「備え」が大切だと気づきました。災害が起きたら「想定外」がたくさんあると思うし、そのたびに「やんで、考えて、ちゃんと自分で自分の答えを出せるようにしたいです。」
- ・防災学習で、自分の命は自分で守らなければいけない、と改めて思いました。今回の学習で自分の家の災害対策を確認しようと思います。
- ・自分は防災のことをあまり知らなかったけど、今回防災学習を受けてすごく勉強になった。避難通路などを改めて確認したりすることがどれだけ大切かを知った。家の家具を固定したり、防災バッグなどを改めて確認しようと思った。
- ・究極の2択ですごく迷った。同じYesでも考えていることが違ったり、私と違う答えの人の意見を聞いて、「こんな考え方もあるのか!」とどの考え方もすごく納得できた。本当に災害が起きたときは、みんな慌てて周りの意見が聞こえなくなってしまうかもしれないけど、こんな練習をしておくことで、慌てずにいられるかも。それぞれの意見を尊重できるようになれるといいな、と思いました。
- ・私は猫を飼っていて、避難所に連れて行きたいけれど、ほかの人の迷惑になるので連れて行けないかも知れない、という選択をしなければならない、と考えたら心が痛くなりました。

- ・家に帰ってからも、「今地震が来たらどこに隠れようかな」「どこが一番安全かな」と日常生活でも地震について考えるようになりました。
- ・自分の意見を自分から言うことは大事なこと、と先生がっていて、それを意識していきたいです。
- ・これからは備蓄をして、服も用意して、避難経路を頭の中に入れ込みます。
- ・自分の意見を自分の言葉で出すことはとても難しかったです。でも、意見がわかりにくくてもみんながよく聞いてくれてほっとしました。



◆◇生徒作成ジレンマゲーム◇◆

①あなたは今家にいます。夜、大地震が起き、停電してしまいました。今、町中が真っ暗です。がれきが落ちているかも知れない、この状況であなたは避難しますか？

②あなたは海の近くに住んでいます。地震で津波が発生。車で高台を目指しますが、道路が混んでいます。運転している父が「車を降りて先に行行って」といいました。先に行く？車で一緒に行く？

それぞれが命を守る行動を！

【お知らせ】

	<p>藤沢市教育文化センター 教育文化講演会</p> <p>どの子ども安心していられる学校づくり</p> <p>～保護者・地域・教職員、「大人のチーム力」で学校をつくる～</p>	
	<p>いま、子どもを取り巻く環境は、学校においても、家庭・地域においても「人に迷惑をかけてはいけない」という声かけのもと、失敗することも、やり直しをすることもできないなんてことはありませんか。</p> <p>「迷惑な子」なんて一人もいません。子どもの声を聴きながら、「大人のチーム力」でどの子ども安心していられる学校、そして、家庭・地域になるためにできることについてご講演いただきます。</p>	
<p>【講師】 木村 泰子 氏</p> <p>木村先生は、2006年に開校した大阪市立大空小学校初代校長として9年間務められ、「みんながつくるみんなの学校」を合い言葉に、すべての子どもを各方面からみつめ、全教職員のチーム力で「すべての子どもの学習権を保障する学校をつくる」ことに情熱を注がれました。現在は、全国各地で講演活動をされています。</p>	<p>と き 8月25日(月) 14:00～16:00 (入場無料 手話通訳有)</p> <p>と ころ Fブレイス(藤沢市藤沢市民センター・労働会館等複合施設)ホール</p> <p>定 員 300人 ※定員になり次第申込みは終了させていただきます。</p> <p>申込方法 二次元コードもしくは電話 申込み 7月15日(火)～25日(金) 申込フォーム(二次元コード)より 電話 Tel (50) 8300 受付 平日 8:30～17:00</p>	

【ストップセクハラ／デートDV／SNS等】

生徒向けリーフレット「STOP !!スクール・セクハラ／デートDV／SNS等を通じた被害」は、藤沢市教育振興基本計画にもとづく人権教育推進事業の一環として、セクシュアル・ハラスメント及びデートDV・SNS等を通じた被害防止に視点をあて、中学生向けに作成し、毎年1年生に配付しております。こちらの二次元コードから、どなたでもご覧になれます。ご家庭でご確認ください。

